

平成 24 年度の年度評価の視点（案）

地方独立行政法人化 3 年目の平成 24 年度の年度計画は、「足腰の強い経営のシステム（基盤）づくり」をテーマに、地方独立行政法人化で得た経営の自由度を今後より適切に活用し、将来に向けて大きく展開することを基本に策定された。

この年度計画に基づき、地方独立行政法人長野県立病院機構が実施した業務の実績に関する評価は、年度評価実施要領及び年度評価基準によるほか、次の視点で行うものとする。

1 平成 24 年度の年度計画の実施状況に対する評価の視点

年度計画に沿った病院運営が確実に行われ、県民に提供するサービス及び業務の質の向上や、業務運営の改善及び効率化が図られているかどうか検証し、その成果や取組の状況について評価を行う。

2 平成 23 年度評価の「今後に向けた課題」への取組に対する評価の視点

平成 23 年度評価で指摘した課題を克服するため、具体的な取組が行われ、確実に改善されているか、あるいは改善の見込みがあるかどうか検証し、課題への対応状況について評価を行う。

3 中期目標の期間（H22～H26 年度）の進捗状況に対する評価の視点

平成 24 年度における取組が、中期計画の着実な達成のために十分なレベルに達しているかどうか検証し、中長期的な視点から評価を行う。